

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	休日診療体制事業							
1-2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	医療健康課	係	健康係	評価票作成者	医療健康課長補佐 堀越 伸江
1-3 総合計画における施策の体系	①節	保健福祉 「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」			③基本施策	地域医療	コード	2-1-4
					④単位施策(中)	医療サポート体制の充実	コード	2-1-4-1
	②項	健康			⑤単位施策(小)	休日診療体制の充実	コード	2-1-4-1-3
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	豊明市民 68,504人		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	市民が休日に急病になっても安心して医療を受けることができる。			
1-5 事務事業の内容	日曜日、祝日、年末年始に内科・小児科の診療を行う。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識			
	平成18年度							
	平成19年度							
	平成20年度							
	平成21年度							
	平成22年度							
	平成23年度	診療にあたるスタッフや薬剤等の管理や調整をし、市民が休日にも診療が受けられるよう休日診療所を運営した。						
	平成24年度	医療費請求を電子化導入することにより、医療費の窓口精算・レセプト請求において正確かつスピーディな対応ができるように改善した。						
	平成25年度							
平成26年度								
平成27年度								

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(種類)	後期目標値(種類)	指標の説明					
	休日診療所の診療日数		71日	71日	日曜日・祝日・年末年始の診療日					

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動実績 a (単位)						70	71			
	直接事業費 b (千円)						18,949	18,726			
	人件費 c (千円)						288	288			
	合計コスト d (b+c) (千円)						19,237	19,014			
単位コスト d/a (千円)	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	1日当たり 276	当たり 268	当たり	当たり	当たり	

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 直接事業費 報酬(医師・薬剤師・嘱託職員)12,647千円 賃金(看護師・事務)3,367千円 需用費(消耗品費・医薬材料費等)1,550千円 その他1,162千円
人件費 3,000円×8時間/月×12月
歳入19,014千円

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(種類)						70	71			
	後期目標値に対する達成度(%)						100	100			

3 ■ 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	単年度担当課評価						A	A			

- 4段階評価結果 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
- B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
- C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
- D : 事務事業の廃止が相当

- 判断の基準
 - ①必要性(必要な事務事業であるか)
 - ②公共性(公が実施する意味があるか)
 - ③妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 - ④効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 - ⑤有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 - ⑥市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
3-2 評価の内容	平成18年度			
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度	医薬材料を現状に見合った内容に見直し、経費削減に努めた。更なるコスト削減を図るため、休日診療所での受診は急病以外は控えることの周知及び事務の改善が課題である。		
	平成24年度	住民の急病受診に関してはスピーディーな対応をし、医薬材料等見直しつつ経費削減・コスト削減をはかる		
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

4 ■ 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
4-1 総合評価の結果	平成18年度		
	平成19年度		
	平成20年度		
	平成21年度		
	平成22年度		
	平成23年度	A	継続して事業を進めること。
	平成24年度	A	継続して事業を進めること。
	平成25年度		
	平成26年度		
	平成27年度		